



フラッグフットボール日本代表 世界選手権必勝を誓う



国内練習を打ち上げた FFFC 富士通フロンティアーズ、FFFC 富士通マロンティアーズの選手・スタッフ

イタリアで行われる「第 7 回フラッグフットボール世界選手権」に出場する日本代表、男女両チームは、川崎市内富士通グラウンドで国内最後の練習に臨みました。男子日本代表「FFFC 富士通フロンティアーズ」、女子日本代表「FFFC 富士通マロンティアーズ」の両チームは最終調整を終え、9 月 7 日と 8 日、イタリアに向け出発いたします。



プレー確認に余念のないマロンティアーズのハドル



【女子日本代表:FFFC 富士通マロンティアーズ】

キャプテン 伊藤香代子さん ポジション:C

私自身世界選手権への出場は 5 回目、世界選手権の雰囲気は判っている。しかし今回は、コーチ陣が男子代表チームで出場する為、試合中はコーチに頼れない。チーム全員の団結力、意思疎通が何より大事だと思っている。

目標としてはもちろん優勝だが、少なくとも前回の 5 位以上の成績を残したい。まずはグループリーグ 4 位以内を死守し、プレーオフで上位を目指せるようにしたい。

攻撃の要は QB 杉本のランプレーと、QB 佐藤のショートパス。丁寧に時間をかけてボールを進めたい。守備では DB 岩崎のプレーに期待している。最少人数の 12 人で大会に臨むが、前後半 40 分をいかに走り切れるか。そこがポイントになると思う。

【男子日本代表:FFFC 富士通フロンティアーズ】

選手兼任 GM 杉田英司さん ポジション:TE

今迄、あと一步のところまで、世界選手権出場権を逃してきた。悲願の世界選手権出場、外国チームに一泡吹かせたい。平均年齢が40歳と出場チームの中ではおそらく最年長だと思う。前後半40分の試合が一日に3~4試合とかなりタフなスケジュール。まずは試合中走りきる事を目指したい。

世界大会挑戦が初めてなので、実際にどれくらいできるか想像がつかないが、何とかメダルを持ち帰りたい。それにはやはりグループリーグを4位以内で通過することがまずは目標。

オフェンスではロング・ショートとも第一ターゲットのWR畑にどれだけパスを通せるかが鍵。ディフェンスではDB吉田孝太郎のビッグプレーができれば、勝利が見えてくる。

国内の練習では連日の試合をいかに戦い抜けるか、そこに重点を置き体力強化をメインに取り組んでいる。



また、練習前には両チームの世界選手権での活躍を願って、子供から大人まで、FFFC フラッグフットボールファミリー全員が列を作り、代表選手達とハイタッチ、微笑ましい儀式が行われました。こんな一面もFFFCの強さを支えているのかも知れません。



両チームの現地での熱い戦いにご注目ください。